

施策評価調書〔途中評価(平成30年度実施)〕

長崎県総合計画における位置付け

		作成年月日	平成30年10月26日	長崎県総合計画記載ページ	24	P
将来像	交流でにぎわう長崎県	施策主管所属	文化観光国際部文化振興課			
基本戦略名	1 交流を生み出し活力を取り込む	課(室)長名	課長 本多 敏博			
施策名	(2) 本県ならではのソフトパワーの活用・発信	施策関係所属(部局名課名)	文化観光国際部国際課 物産ブランド推進課			

1 施策の内容

【取組の概要】	【めざす姿】
「日本遺産」認定や「ユネスコ記憶遺産」登録推進など、海外との長い交流の歴史等の本県の特徴ある文化を活かした取組を進め、戦略的な情報発信を行うとともに、被爆県としての核兵器廃絶と世界恒久平和を世界に向けて発信します。	地域の魅力の磨き上げと戦略的な発信により長崎県ならではの歴史・文化等の『魅力×影響力』（ソフトパワー）が世界に認知され、それらを体感しようとする人の流れが拡大している。

2 施策の進捗状況と評価

施策の進捗状況の評価																															
■ A : 順調 □ B : やや遅れている □ C : 遅れている																															
<p><<これまでの成果>></p> <p>①歴史文化の活用と発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 中国・明末清初の高僧で、本県とゆかりがある隠元禅師の調査・研究を行い、隠元禅師の渡来により伝わった黄檗文化による交流事業を実施することが出来た。 「ナンコイ新十景」事業に取り組み、県内の新たな魅力のあるスポットを50ヶ所発掘することができた。 首都圏の出版社を訪問し、他県に類を見ない本県の地域資源を売り込むことにより、出版社と作家を本県への取材旅行に招聘し、マンガ等の作品化を実現した。 <p>②朝鮮通信使</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年10月に、朝鮮通信使に関する記録がユネスコ「世界の記憶」へ登録された。 朝鮮通信使が果たした歴史的役割などに関する県内でのパネル展示や韓国への講師派遣、「日韓交流おまつり」における朝鮮通信使や本県のPRにより、日韓両国における理解促進や本県の認知度向上を図ることができた。 <p>③県産品のブランド化</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産・出荷団体、経済団体等との連携により、重点PR商品の見直しを行い、それらの商品を中心に総合的な展開を行う「長崎フェア」を実施した。また、商談会を開催し、商談機会の創出を行った。 首都圏における情報発信拠点については、運営事業者や県内市町・企業・関係団体等との連携により、本県の歴史・文化、観光、食などの魅力を総合的に発信した。平成29年度の来館者数は40.9万人に達し、多くの方に本県の魅力を発信することができた。(目標達成率167%=実績値40.9万人/目標値24.5万人) <p>④核兵器廃絶</p> <ul style="list-style-type: none"> 平和発信事業への参加者の内訳は長崎平和大学528人、被爆体験講話3,815人、海外原爆展1,000人であった。 平成27年度から県内市町や県外大学への被爆体験講話者派遣を拡大して実施したことから、被爆体験講話の開催数が増加しており単年度の進捗状況としては順調に最終目標値へ近づいている。 <p><<進捗状況に課題がみられる分野>> 特になし</p>	<p>歴史・文化素材の発掘・ソフトパワー化</p> <table border="1"> <caption>歴史・文化素材の発掘・ソフトパワー化の進捗状況</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値(発掘)</th> <th>実績値(資源化)</th> <th>目標値(発掘)</th> <th>目標値(資源化)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値(発掘)	実績値(資源化)	目標値(発掘)	目標値(資源化)	H28	1	0	1	0	H29	2	1	2	1	H30	3	2	3	2	H31	4	3	4	3	H32	4	4	4	4
年度	実績値(発掘)	実績値(資源化)	目標値(発掘)	目標値(資源化)																											
H28	1	0	1	0																											
H29	2	1	2	1																											
H30	3	2	3	2																											
H31	4	3	4	3																											
H32	4	4	4	4																											

3 施策の成果指標の進捗状況

指標	基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	進捗状況の分析
歴史・文化素材の発掘・ソフトパワー化(累計)	目標値①	1(発掘)	2(発掘) 1(資源化)	3(発掘) 2(資源化)	4(発掘) 3(資源化)	4(発掘) 4(資源化)	4(発掘) 4(資源化) (H32年度)	平成28年度において、日中両国にゆかりがある隠元禅師の資料調査や黄檗文化交流団来県時に意見交換を行う等、隠元禅師と黄檗文化にかかる調査研究にとりかかった。平成29年度には、中国福建省との共催で「日中黄檗文化交流大会」を開催するなど、隠元禅師の渡来によってもたらされた黄檗文化による交流事業を実施した。 平成28年度から、県内の新たな魅力のあるスポットの発掘を行いリスト化する「ナンコイ新十景」事業を開始した。 平成28年度から、出版社や作家を本県への取材旅行に9回招待し、本県を舞台としたマンガ等の創作支援を行ったことにより、8件の作品化が実現した。
	実績値②	—	3(発掘) 1(資源化)				進捗状況	
	②/①	—	300%	150%(発掘) 100%(資源化)				

4 新たな課題や社会情勢の変化等

- 歴史文化の活用と発信
 - ・日本遺産「国境の島」推進協議会について、民間主導による活動活性化を図るため、組織整備や人材育成に取り組む必要がある。
 - ・本県とつながりが深い偉人等の調査研究をさらに進め、効果的な情報発信を行い、交流拡大につなげることが必要である。
 - ・発掘した魅力ある素材を観光資源として磨き上げ、効果的な情報発信を行う必要がある。
- 朝鮮通信使
 - ・朝鮮通信使に関する記録がユネスコ「世界の記憶」登録されたことから、今後はこれを活用した本県の認知度の向上及び交流人口の拡大に繋げる必要がある。
- 県産品のブランド化
 - ・本県情報発信拠点開設後に近隣に他県アンテナショップが新たに開設され、他県アンテナショップとの競合が進行している。
- その他（総合的な文化芸術政策）
 - ・少子高齢化やグローバル化の進展、情報技術の急速な進展など社会状況が大きく変化する中で、変化に応じた社会の要請に応じつつ、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等関連分野との連携を視野に入れた総合的な文化芸術政策の展開が求められる中、国において法の改正及び新たに「文化芸術推進基本計画」が策定された。



5 課題を踏まえた今後の対応方針

- 歴史文化の活用と発信
 - ・本県の特徴ある歴史・文化を活かした「日本遺産」の情報発信を継続する。また、日本遺産「国境の島」推進協議会について、民間主導の組織体制への移行を目指す。
 - ・本県ゆかりの偉人の調査研究を進め、その結果を基に日中両国でパネル展示を行うなど効果的に情報を発信する。
 - ・長崎ならではの魅力的な歴史・文化資源を活かし、広く県内外に情報発信することにより交流人口拡大を図る。
- 朝鮮通信使
 - ・登録された朝鮮通信使を活用し、効果的な情報発信や日韓交流促進のためのイベントを実施することにより、本県の認知度の向上や日韓の交流人口拡大を図る。
- 県産品のブランド化
 - ・引き続きイベントコーナーの更なる活用と内容の充実、HPやSNSでの情報発信の強化、変化のある売り場づくり等に加え、平成30年度からは店舗リニューアルを図り、生鮮農水産物の販売や取扱商品数の拡大等を行うことにより、来館者数の増加を図り、本県の魅力発信を行っていく。
- その他（総合的な文化芸術政策）
 - ・県内の社会状況の変化やニーズをふまえ、これまでの文化芸術の振興をはじめとして、文化芸術を活かした新しい価値の創造や、文化芸術と他分野との連携・融合のあり方など、県の新たな文化芸術政策について、庁内関係課や県内関係団体等の意見を聴きながら検討していく。

6 施策を推進する事業群の状況

事業群①「世界に通用する長崎県の歴史文化の活用と発信」	事業群評価調書 1-(2)-①	参照
事業群②「朝鮮通信使関係資料のユネスコ記憶遺産登録推進」	事業群評価調書 1-(2)-②	参照
事業群③「県産品のブランド化の推進」	事業群評価調書 1-(2)-③	参照
事業群④「核兵器廃絶と世界恒久平和に向けた発信」	事業群評価調書 1-(2)-④	参照